

「きたかみの未来を創る教育のあり方説明会（令和6年7月20日開催）」

多数のご意見・ご質問ありがとうございました。事前質問及びアンケートに対する回答を掲載いたします。

NO	年代	きたかみの未来を創る教育のあり方についての『ご意見』『ご質問』	回答	担当課
事前意見	40代	児童数を見ると、統廃合の議論も出てくるかと感じました。統合した学校も、少子化の状況で、どこまで持続していけるのか、不安も感じました。学校の数の問題もありますが、主体的な学びの議論には、地域づくりを含めていく必要があると感じました。	少子化が進む中、教育環境の持続も重要な視点として、協議を進めて参ります。なお、北上市の目指す「コミュニティ・スクール」においても、持続可能な活動を続けるために学校が主体的な学びの場となるよう活動を行っており、引き続き学校と地域の連携を進めて参ります。	総務課
1	70代以上	広く市民各層の方々の意見を聴く機会を持っていただくよう希望します。	説明会やアンケート等の他、今後設置される予定の地域協議会においても意見聴取するよう努めて参ります。	総務課
2	70代以上	子どもが少なくなる現状をふまえてPTA・地区・先生で検討を要する。	ご意見については、「きたかみの未来を創る教育のあり方」でも提言を頂いており、ご指摘のメンバーを含めた地域協議会での検討がスムーズに進むよう努めて参ります。	総務課
3	70代以上	地域と共に子ども目線で。	地域と子どもの関わりも意識しつつ、子どもの意見聴取については、その手法等を北上市立学校適正配置基本計画策定検討委員会において、検討して参ります。	総務課
4	70代以上	子どもたちの立ち位置での教育を望みます。	子どもの将来を念頭に置きつつ、子どもの意見聴取については、その手法等を北上市立学校適正配置基本計画策定検討委員会において、検討して参ります。	総務課
5	70代以上	自主性を育てる教育が全ての人格の基本になるように思います。	子どもたちが自分で考え行動する力は、予測困難なこれからの社会において必要な力と捉えており、当市の学校教育においても大切に参ります。	学校教育課
6	70代以上	①具体的な説明がほしかった。②教員を始めとする学校・教育委員会の意識変革とリーダー的「人の育成」が重要と感じた。特に、「生成AI時代」の学校教育と「先生の意識変革」未来を考える思考が重要。	①今回はわかりやすさを優先し、短い時間設定とさせて頂きました。より詳しい情報は「きたかみの未来を創る教育のあり方」の本文や関連リンク先にも掲載されておりますのでご確認ください。 ②AI技術の進化により、個別最適な学びが一層加速など子どもたちの学び方が大きく変わる可能性があります。社会の変化を積極的に受け入れ、子どもたちの学びの環境を整えるため、各種研修を進めて参ります。	①総務課 ②学校教育課
7	60代	教育において求められていることが変化して来ていると感じました。そこを知ることからスタートと思います。地域より、こども中心に在り方を考えるべきです。こどもたちの声が重要と思いました。どれだけ一緒に考えられるか、意見を尊重出来るか。	子どもの意見聴取については、北上市立学校適正配置基本計画策定検討委員会において検討して参ります。	総務課
8	50代	統廃合問題は避けられない問題ではあるが、どのような学校、どのような子どもを育てるかビジョンをしっかりと考えないと成果につながらないと思う。	多様性を認め、予測困難な社会を生き抜く力を育むことが学校教育に求められているものであり、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な推進がなされる学習環境を実現するため、地域協議会等でも協議して参ります。	学校教育課

NO	年代	きたかみの未来を創る教育のあり方についての『ご意見』『ご質問』	回答	担当課
9	50代	子ども達1人1人の力を伸ばす教育を公立学校で行うのであれば、公立学校のあり方を根本的に見直すことが必要だと思う。現状では不登校支援を含め多様な学びの選択肢をつくることが必要ではないか。	多様な学びの選択肢を広げることについては、現行の制度の中で最大限の工夫していかなければならないものと考えております。	学校教育課
10	50代	教育の在り方が自分の受けていたものよりかなり進んでいると感じました。「こども基本法」を読みたいのです。	ご意見のとおり、環境の変化にあわせ、教育の在り方も大きく変わっております。次の「こども家庭庁」のHPには「こども基本法」の概要がまとめられておりますので、ご覧ください。 <a href="https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo-kihon/">https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo-kihon/</a>	総務課
11	50代	子どもたちの教育の目指すところが暗記して点数を取ることもより思考力や表現力に移行しているというのは本当にいいことだと思う。しかし、そのためにはある程度の人数がいる学校環境が望ましいというのは違うのではないか。たくさんの人の中で学ぶことも確かにあるだろう。しかしそれは学校ではなくても地域社会の中で培われるものだと思う。地域全体で子どもたちを育てる機運を高めていくほうが先だと思う。統廃合等によって地域から学校が無くなっていくのは、本当に子どもたちにとっていいことなのか。逆に、地域の大人と関わる機会を子どもたちから奪ってしまうことになるのではないか。子どもたちの本当の思い、気持ちに大人たちが耳を傾けるべきときと思う。市はどのようにして子どもたちの本当の声を聞くつもりなのか聞きたい。子どもたちはそんなに簡単に自分の気持ちを話してはくれない。何故なら我慢することを良しとした教育を受けてきているから、自分の気持ちを話していいんだとは思えないのだ。話しができる、いわゆる優等生と言われているような子どもたちの声しか集められないのではないかと思う。普段、人の後ろにいる、目立たない子どもたちの声もちゃんと聞いてほしい。学校統廃合云々よりもそれがまず一番先に行われることを願う。	変化する社会に必要な資質・能力を育むため、文部科学省資料では、「学校では、知識や技能の習得に加え、児童生徒が集団の中で思考力や表現力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要なため、実現のためには一定の学校規模の確保することが重要と捉えております。 上記を踏まえつつ、それぞれの地域の特性や環境に適した教育方法を配慮しながら、長期にわたって、その地域に育つ子ども達が最適な教育環境の中で学び育つためにはどうしたら良いかを、各地域協議会の中で協議頂けるよう進めて参ります。 また、地域と学校は密接な関係にあることから、北上市の目指す「コミュニティ・スクール」では「学校運営協議会」と「地域学校協働本部」が両輪となって子どもの学ぶ環境整備に関わる地域学校協働活動を引き続き実施してまいります。 なお、子どもの意見聴取は、北上市立学校適正配置基本計画策定検討委員会において検討して参ります。加えて、こどもまんなか社会実現のため、現在北上市こども計画策定を進めております。その際、子ども向けアンケートを実施したほか、今後ワークショップ等により子ども達の意見を取り入れて参ります。	総務課
12	40代	今日の説明会は家族が役員だったので開催されることを知りました。市の広報などに開催のお知らせを載せたのだとは思いますが、子育て当事者である保護者に知らせるためには、教育施設などから配布したほうが良いのでは？と思います。早い段階から子育て世代を巻き込んだ方が良いのでは？	7月20日開催の説明会は広報、庁舎掲示、地区交流センター掲示、インターネット広告掲載等の他、各学校を通じてマチコミ等でお知らせいたしました。また、「こども基本法」の考え方からも子育て世代のご意見は重要と捉えており、今後も周知に努めて参りますが、ご参加の皆様相互とも情報共有いただきますようお願いいたします。	総務課
13	40代	現行の学校の在り方について、先日校長先生とお話した際、「まわりの学校がやっているからうちもやる。」という回答でした。1人の意見がとおる教育者の発言にがっかりしました。	ご意見については、教育委員会、学校にも共有して参ります。	学校教育課

NO	年代	きたかみの未来を創る教育のあり方についての『ご意見』『ご質問』	回答	担当課
14	40代	①市民に公開して話を聞ける機会は貴重だと思います。今後も機会を設けてほしい。②非認知能力を育てる教育を併せてすすめたい。	①今後は、地域説明会として中学校区単位でより詳しくお話しできる機会を設けます。②非認知能力（社会性や情緒）は、学校だけではなく、ご家庭や地域においての体験を通じても育まれると捉えており、コミュニティ・スクールの活動等を通じて、機会の創出を図って参りたいと考えております。	総務課
15	40代	①一人一人に合わせた学習環境と保証 ②少人数学級で1クラス20人北上市独自の教育スタイルの実現 ③地域・教育・体験格差をないよう子どもたちの発達に必要なことを理解するよう保護者理解が必要 ④子供達の意見が反映し実現体験 ⑤教科書を活かした学習環境の強化 ⑥長期休み中の学習教材が教科書とリンクした形の教育 ⑦学校給食を通じて食や命についての学習の強化 ⑧農業体験などを他の学校取り組みを学ぶ学習交流会を開催 ⑨図工や体育の授業の時間に宿題をさせ、図工、体育授業が受けられなかったことがあり、子どもの教育を受ける権利を守る ⑩学校生活で自信をなくし、学校が嫌になり、精神バランスをくずして字がかけなくなりました。学校に行くことで教育をきちんと受けられるというが、先生次第で変わるため安心安全な学習環境の実現 ⑪不登校の児童生徒にもその一人一人の学びの保証し、スクールカウンセラーの拡充 ⑫北上にしかない郷土芸能芸術文化の体験	①現行の制度の中で最大限の工夫していかなければならないものと考えております。 ②教職員定数に関することから、岩手県教育委員会に対し、必要に応じ要望して参ります。 ③コミュニティ・スクールも活用し、学校と共に保護者への理解を図って参りたいと考えております。 ④各校の教育課程編成に対して、子どもの意見も取り入れた計画がなされるよう学校に働きかけて参ります。 ⑤確かな学力の育成に向け、教科書や一人一台端末の効果的な活用した学びの場を充実させて参ります。 ⑥⑦⑧ご意見として、学校に共有して参ります。 ⑨教育課程が正しく実施されるよう、学校へ指導して参ります。 ⑩教職員の研修を通し、教職員の資質向上を図り、安心安全な学習環境の実現を目指して参ります。 ⑪不登校児童生徒に対して学習機会が保証されるよう学校に働きかけて参ります。また、スクールカウンセラーの拡充については岩手県教育委員会に要望して参ります。 ⑫ご意見として、学校に共有して参ります。	② 総務課  (上記以外) 学校教育課
16	30代	笠松小・和賀西小の統合を切に願います。また、中学校も統合を進めてほしいと思いました。	今後設置される予定の地域協議会において、学校に関わる地域の皆様方と、子どもの将来を考えながらご協議いただきたいと考えております。	総務課
事前質問	40代	①子どもの学びに立ち返りながらの議論ですが、地域づくりと共に考えていかなければならないと思いますが、庁内では担当課同士の情報共有や検討の場をどのように持っていくのでしょうか？ ②また地域住民の勉強会は、誰が主体となり取り組み、どう子どもの意見や子育て世代の意見を反映させていくのか教えていただきたいです。	①ご指摘のとおり、地域と学校は密接な関係にあることから、北上市の目指す「コミュニティ・スクール」では「学校運営協議会（所管：学校教育課）」と「地域学校協働本部（所管：生涯学習文化課）」が両輪となって子どもの学ぶ環境整備に関わる地域学校協働活動を実施しております。なお、コミュニティ・スクールを形骸化させず、効果的な地域学校協働活動を推進するため、担当両課が連携しながら「北上市コミュニティ・スクール連絡協議会」を開催し、各学校や地域の課題共有及び解決策を検討する場を設けております。 ②また、地域住民の勉強会については、教育委員会が主催する地区説明会を中学校区単位で開催を予定しております。その後、地域が主体となり協議の場が設置されることが想定されます。子どもの意見や子育て世代の意見反映については、北上市立学校適正配置基本計画策定検討委員会で検討することとしており、この検討内容に沿い、各地域で設立された地域協議会の中で反映されるよう進めて参ります。	①学校教育課 ②総務課

NO	年代	きたかみの未来を創る教育のあり方についての『ご意見』『ご質問』	回答	担当課
17	60代	同年齢の子ども達の関わりの中で学ぶことが多くある事はわかりましたが、最低人数についての目安になるものはあるのでしょうか。	子ども達が集団で学びやすいと考えられている最低人数には、具体的な数値を示すのは現時点ではありません。参考までに、国の基準では学校1校の標準学級数を、小学校は各学年2クラス以上、中学校は各学年4クラス以上と示しております。また、例えば小学校においては、原則2つの学年を足した人数が16人以下になる場合は複式学級となるとされています。	総務課
18	50代	地域協議会の設置主体は誰か。そのための経費負担は市が確保するのか。地域協議会を進めるのはPTAか。教育委員会・学校か。有志にゆだねるのか。	地域協議会の設置及び運営主体は、北上市地域づくり組織条例において、市長等と協働してまちづくりを推進するため地域の課題解決に取り組むとされている「地域づくり組織」を想定しております。詳しい運営方法は、北上市立学校適正配置基本計画策定検討委員会の意見を踏まえ、決定して参ります。	総務課
19	40代	とてもすてきな提言です。学校教育が変わってきていると思いますが、学校側からは何のお話もありません。学校では何を教わっているのか、親には何も見えません。昔の教育しか知らない親は子供にどう学業と向かい合えばよいのでしょうか？子供を中心とした学校を実現できれば不登校の子も来るようになると思います。	こどもまんなか社会の実現に向け、地域に開かれた学校づくりについて各学校に今後も働きかけ、地域の方々への情報発信を進めて参ります。	学校教育課
20	40代	①教科書を学校に置いていたら家で自主学習をするのに使えないため教科書の活用のあり方を考えたほうがよいのでは？ ②物価上昇と最低賃金が年々上昇しているため、就学支援制度の所得制限の基準を上げる検討はないのか？ ③8月か9月に中学校ごとの開催予定説明会は早すぎるので遅らせることは出来ないのか？ ④いままでの説明会の在り方が学校統合ありきで進められてきた事こともあり、各地説明会を開催しても統合する方向なのかなと考える保護者が多いと感じます。前段階を知らないまま一方的な話を聞くだけのスタイルの説明会は参加したいとは思わない。説明会の内容のかんがえてほしい ⑤説明会の前にこどもまんなか社会の実現とのことなら先に子ども達一人一人意見を言える場を作るのが先ではないか？ ⑥説明会参加率を上げるためには各学校授業参観あとなどの開催の検討が必要では？ ⑦北上市の未来を作る教育の在り方のかんがえる子ども議会の開催検討	①ご意見として学校に共有して参ります。 ②国の基準に基づきR5年度に検討を行い、現基準となっております。今後も国の動向等を踏まえて検討して参ります。 ③④中学校区ごとの説明会は、その後の地域での協議期間を確保するためにも、早期に開催したいと考えております。また、説明会では「きたかみの未来を創る教育のあり方」について、7月20日開催の説明会の内容に中学校区ごとの状況を追加するなど、より詳細な説明を行ってまいります。 ⑤⑦子どもの意見の聞き取り方は、北上市立学校適正配置基本計画策定検討委員会において検討して参ります。なお、こどもまんなか社会実現のため、現在北上市こども計画策定を進めております。その際、子供向けアンケートを実施したほか、今後ワークショップ等により子ども達の意見を取り入れて参ります。 ⑥中学校区の開催となるため、小学校と中学校の授業参観の日程が合わないことから別日での開催といたします。なお、参加できない方もいらっしゃることから7月20日開催説明会の様子をYouTubeで公開しております。	①② 学校教育課  (上記以外) 総務課